

緊急事態措置解除の考え方（9月8日：国の分科会資料より抜粋）

（1）基本的な考え方

- デルタ株が主流となったこともあり、感染者数が急増。重症者に比べて**軽症・中等症者が増加**する中で医療逼迫が生じ、**自宅療養者数も増加**。
- したがって、緊急事態宣言の解除については、新規陽性者数の動向はもとより、今まで以上に**医療逼迫の状況を重視**していく必要がある。
- 医療逼迫の度合いはワクチンの重症化予防による効果が影響。
- 医療逼迫を判断する際には、**コロナによる医療への負荷、一般医療への負荷**の2つの側面から考える必要がある。
- 緊急事態措置の解除を考える際には、**様々な指標**を総合的に検討して判断する必要があるほか、**自治体や専門家**の意向も考慮する必要がある。

（2）医療逼迫に関する指標

<新型コロナウイルス感染症医療の負荷>

- ①病床利用率：**50%未満** ②重症病床利用率：**50%未満** ③入院率：**改善傾向**にあること
- ④重症者数：継続して**減少傾向**にあること ⑤中等症者数：継続して**減少傾向**にあること
- ⑥自宅療養者数及び療養等調整中の数の合計値
- 大都市圏では**60人／10万人程度**に向かって**確実に減少**していること。
- その他地域でも特に**療養等調整中の数が減少傾向**または**適正な規模**に保たれていること。

<一般医療への負荷>

- ①緊急搬送困難事案：大都市圏では**減少傾向**

（3）新規陽性者数

- ① 新規陽性者数：2週間ほど継続して安定的に**下降傾向**にあることが前提

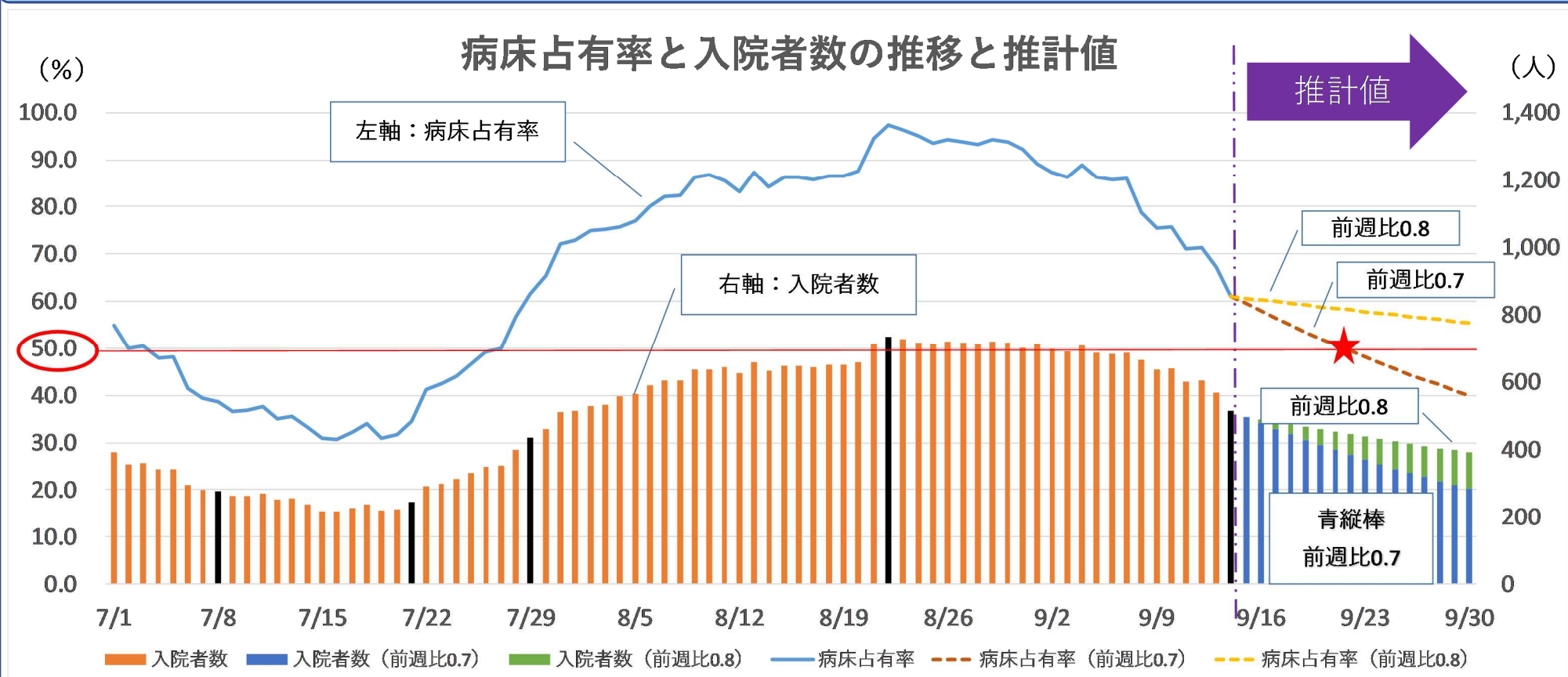
※ 大都市圏では、(2)⑥の合計値60人／10万人程度は新規陽性者数の50人／10万人程度に相当

国の警戒レベル判断指標の現状と推計値

国の医療ひっ迫に関する指標															
		9/13現在				9/22(推計値)				9/30(推計値)					
1	病床占有率	②確保病床数		ステージ Ⅳ相当	②確保病床数		ステージ Ⅲ相当	②確保病床数		ステージ Ⅲ相当					
		67.2%			49.4%			40.0%							
		567	844		383	776		285	713						
2	重症者用病床占有率 (重症者(国基準)/確保済重症者用病床数(国基準))	②確保病床数		ステージ Ⅳ相当	②確保病床数		ステージ Ⅳ相当	②確保病床数		ステージ Ⅲ相当					
		87.2%			54.5%			35.6%							
		95	109		55	101		36	101						
3	入院率	11.3%			11.5%			12.9%							
	(傾向: 前週比)	前週	11.9%	差	-0.6%	悪化	前週	10.4%	差	1.1%	改善	前週	11.7%	差	1.2%
4	国指標重症者数: 傾向	今週	先週		減少	22日	前週		減少	30日	前週		減少		
		95 人	125 人			55 人	78 人			36 人	52 人				
5	国指標中等症者数: 傾向	今週	先週		減少	22日	前週		減少	30日	前週		減少		
		438 人	546 人			277 人	390 人			187 人	264 人				
6	自宅療養+入院等調整中: 傾向	今週	先週		減少	22日	前週		減少	30日	前週		減少		
		3651 人	4374 人			2440 人	3486 人			1623 人	2319 人				
参考	直近1週間と先週との比較	今週	先週		減少	22日	前週		減少	30日	前週		減少		
		2116 人	3253 人			1296 人	1909 人			833 人	1227 人				

- 9月30日の推計値では、各判断指標とも緊急事態宣言解除の値まで改善する見込みとなっている。
- 各判断指標の推計値は、現在の新規陽性者数減少率である前週比0.7を用いてシミュレーションした見込みである。

主な国の判断指標の現状と見通し <①病床占有率>

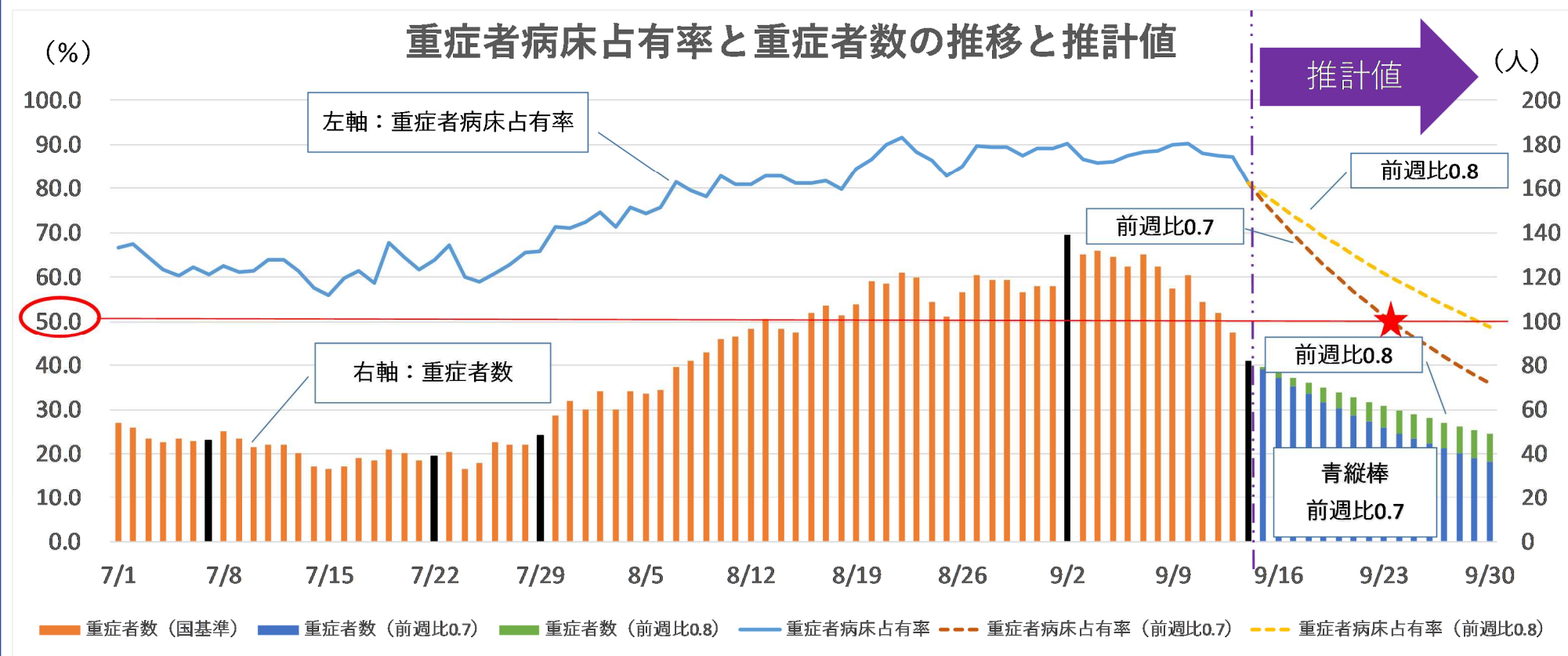


	7/8	7/21	7/29	8/23	9/14	9/22	9/30	推計方法
病床占有率（％）	38.7	34.6	61.6	96.4	61.0	49.4	40.0	前週比0.7
						58.1	55.4	前週比0.8
入院者数（人）	276	244	434	726	515	383	285	前週比0.7
						451	395	前週比0.8
確保病床数（床）	713	705	705	753	844	776	713	確保見込713床
備考	県立施設開館	県立施設閉館	大規模施設休業	病床占有率ピーク	最新実績値	本部会議前推計値	解除前推計値	

<国判断指標> ①病床占有率：50%未満

- 病床占有率は、8月23日の96.4%をピークに減少傾向にある。
- 9月14日現在の病床占有率は、61.0%となっており、入院者数が前週比0.7で推移すると、22日には50%程度となる見込み。
- 9月30日には、国判断値50%を下回り、40%程度となる。
- 確保病床数は、7月以降に入院者数が過去最小となった7月9日の713床まで減少することを想定。

主な国の判断指標の現状と見通し <②重症者病床占有率>

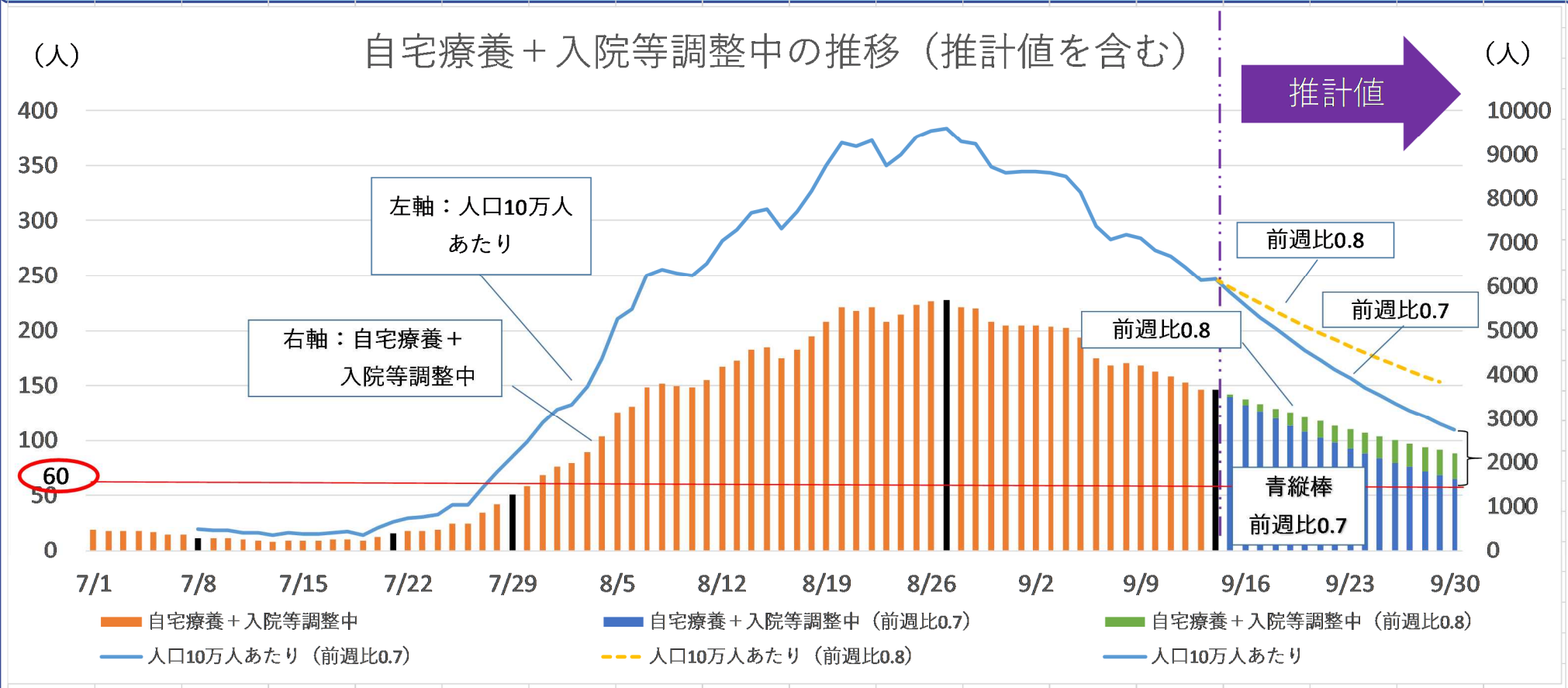


	7/8	7/21	7/29	9/2	9/14	9/22	9/30	推計方法
重症者病床占有率 (%)	62.5	61.7	65.8	90.3	81.2	54.0 62.9	35.9 48.8	前週比0.7 前週比0.8
重症者数 (人)	50	37	48	139	82	55 64	36 49	前週比0.7 前週比0.8
確保済重症者用病床数 (床)	80	60	73	154	101	101	101	病床維持
備考	県立施設開館	県立施設閉館	大規模施設休業	重症者病床占有率ピーク	最新実績値	本部会議前推計値	解除前推計値	

<国判断指標> ②重症者病床占有率：50%未満

- 重症者病床占有率は、9月2日の90.3%をピークに減少傾向にある。
- 9月14日現在の病床占有率は、81.2%となっており、入院者数が前週比0.7で推移すると、22日には54%程度となる見込み。
- 9月30日には、国判断値50%を下回り、36%程度となる。
- 確保病床数は、現在の病床数を維持することを想定した数値。

主な国の判断指標の現状と見通し <⑥自宅療養＋入院等調整中>



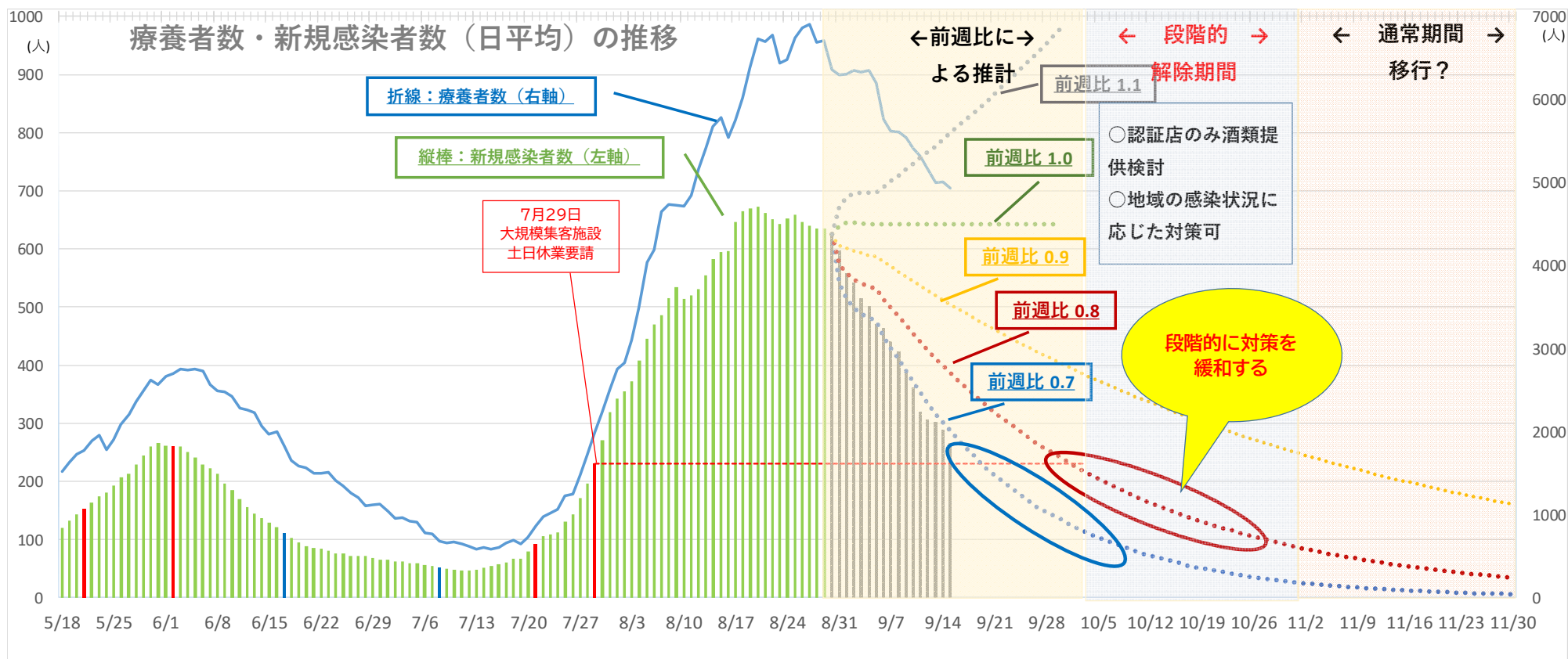
	7/8	7/21	7/29	8/27	9/14	9/22	9/30	推計方法
人口10万人あたり人数 自宅療養＋入院調整中	24	26	86	384	247	164	109	前週比0.7
						191	148	前週比0.8
自宅療養＋入院調整中（人）	357	381	1,272	5,699	3,668	2,440	1,623	前週比0.7
						2,842	2,203	前週比0.8
入院調整中（人）	241	213	715	2,852	1,945	1,294	861	前週比0.7
						1,507	1,168	前週比0.8
備考	県立施設開館	県立施設閉館	大規模施設休業	ピーク値	最新実績値	本部会議前推計値	解除前推計値	

<国判断指標> ⑥自宅療養＋入院等調整中

→療養等調整中の数が減少傾向または適正な規模

- 人口10万人あたり自宅療養＋入院等調整中数は、**8月27日**の384人を**ピーク**に減少傾向にある。
- 9月14日現在の同指標は、247人となっており、**前週比0.7**で推移すると、**22日には164人、30日には109人**となる見込み。
- 大都市圏の同指標の要件は「60人に向かって確実に減少」となっているが、その他地域は「**入院等調整中の数が減少傾向、または適正な規模**」となっている。

主な国の判断指標の現状と見通し <新規陽性者数>



<国判断指標> 新規陽性者数：2週間ほど継続して安定的に下降傾向にあることが前提

- 新規陽性者数（日平均）は、8月20日の673人をピークに減少傾向に転じており、9月以降は前週比0.7前後で推移し、順調に減少を続けている。
- 9月30日には、このまま前週比0.7で推移すると119人（週あたり833人）、前週比0.8で推移すると165人（週あたり1,155人）となる。
- 9月に作成した「見通し」においては、10月に段階的解除期間を予定していたが、想定よりも新規陽性者数は減少しており、前倒しによる段階的解除も可能と考える。